

# プラごみ

## 海亀泣いてるよ

松江市西浜佐陀町の古江公民館で18日、プラスチックごみをテーマにした演劇「海亀の涙」の上演会があった。写真。海洋流出による被害を知ってもらおうと松江市や安来市の住民らでつくる市民団体「くにびきエコクラブ」が企画。古江小学校(同市古曾志町)の児童35人を含む計約100人が訪れ、プラごみ流出を防ぐために実践できることを考えた。

【鈴木周】

ペットボトルやストローなどのプラごみは、海で生き物が口にして死んだり、その体内に蓄積されたものを人間が取り込んだりする恐れがある。

「海亀の涙」は同クラブ名誉会長の山口信夫さん(76)が脚本や演出を手掛けた作品で、この日は役者や裏方ら計25人が参加。スーパーの店主がウミガメの鼻にストローが刺さる

### 松江で市民劇

映像などを見て、使い捨てストローの廃止や店のレジ袋の有料化を決意する。客が来なくなるといふ周囲の声に気後れせず、環境に配慮した店へと変わり、常連客はエコバッグ持参で買い物するようになるという内容だ。

劇を見た井原緋月さん(9)は「プラスチックごみが海洋生物にどう影響するかを改めて学んだ。ストローをもらわないなどの行動を心掛けた」と話した。

